

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



第13グループガバナー補佐 尾崎裕一様に御講談いただきました。



話を聞いている松戸北ロータリークラブの会員の様子

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 **67.7%**

会報作成者 岡本

第2445回 例会 2024年 7月17日(水)

■ 国際ロータリー会長	ステファニー・A・アーチック	■ 例会日	- 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
■ 第2790地区ガバナー	寒郡 茂樹	■ 例会場	- 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
■ 第13Gガバナー補佐	尾崎 裕一	■ 事務所	- 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイイツ101
■ 松戸北ロータリークラブ会長	柳 孝実	■ TEL/FAX	- 047-711-5950 / 047-711-5910
■ 松戸北ロータリークラブ幹事	関 征啓	■ Web/Mail	- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2445回 例会プログラム>

司会 澁谷剛士会員

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 12:30 点鐘 | 柳孝実会長 |
| ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】 | |
| 12:33 お客さま紹介 | 野澤新之助会長エレクト |
| 12:35 会食 | |
| | |
| 13:00 例会再開 | |
| 会長挨拶・報告 | 柳孝実会長 |
| 幹事挨拶・報告 | 関征啓幹事 |
| 13:05 ガバナー補佐挨拶 | 尾崎裕一ガバナー補佐 |
| 13:20 故 大熊一寿会員への感謝状贈呈 | |
| | |
| 13:25 【委員会報告】 | |
| 出席親睦委員会 本日の出席率発表 | 小林辰幸会員 |
| 社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 | 高橋一彦委員長 |
| ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表 | 中原光男会員 |
| | |
| 13:30 点鐘 | 柳孝実会長 |

<会長挨拶>

皆さんこんにちは。7月3日に20年ぶりに新紙幣が発行されました。一万円札の肖像画は福沢諭吉から生涯で500もの企業の設立などに関わったと言われ『近代日本経済の父』と呼ばれる実業家の渋沢栄一(1840～1931)、五千円札は樋口一葉から日本で最初の女子留学生としてアメリカで学び、女子英学塾(現在の津田塾大学)を創設するなど、近代的な女子高等教育に尽力した津田梅子(1864～1929)、千円札は野口英世から破傷風の治療法を開発、ペスト菌の発見のほか、伝染病研究所、北里研究所を創設し後進の育成にも尽力した細菌学者の北里柴三郎(1853～1931)に変更になりました。

渋沢栄一は1931年に91歳で、津田梅子は1929年に64歳で、北里柴三郎は1931年に78歳で亡くなりますが、実はこの3名が存命であった、1920年(大正9年)に東京ロータリークラブが設立されております。ということは、もしかするとロータリアンだったのでは、と思い調べてみました。結果、ロータリアンではありませんでしたが、ロータリーにも通じる生き方をされておりましたので、3名の残された名言・格言と共にご紹介させていただきます。

津田梅子は6歳の時に岩倉使節団とともにアメリカに留学し、11年間の留学生活で、現地初等・中等教育を受け、フランス語、ラテン語、数学、物理学、天文学を学びました。留学から帰国した梅子は日本の女性の地位がアメリカと比べ極めて低いことに驚きます。そこで経済的に自立し、社会で活躍できる女性を育てることを目指すようになりました。

その取り組みの一つが奨学金制度の確立です。自ら募金を行い、アメリカ人の支援者に協力を仰ぐことで、留学を望む女性の背中を後押ししました。この制度を使い留学した女性は帰国後に様々な分野で活躍しています。

また女子主導の女子教育を進めるために女子英学塾を設立し、現在に続く女子教育の礎を気付きました。その彼女の残した格言がこれです。

柳孝実会長



次ページへ続く

WEEKLY REPORT

<ニコニコ>



ガバナー補佐 尾崎裕一 様
ガバナー補佐幹事 井奥俊博 様
 北ロータリクラブの皆様
 柳会長、関幹事様
 これから一年よろしくお願いたします。

小林辰幸会員

本日は尾崎ガバナー補佐、井奥ガバナー補佐幹事様に訪問いただき、ありがとうございます。1年間ご指導の程よろしくお願いたします。

宮野嗣英会員

誕生日のお祝いありがとうございます。42歳になりました。最近带状疱疹になり健康に気を付けなければいけないと感じました。



故 大熊一寿会員へ
 ロータリークラブより感謝状が贈呈されました。
 尾崎裕一ガバナー補佐よりお子様へお渡しいたしました。

《会報編集委員》 平野崇広・佐久間音弥・廣瀬淳一・岡本真理子・本間紗也香・佐藤友紀

社会奉仕基金
 2,625円

WEEKLY REPORT

<ガバナー補佐挨拶>

第13グループガバナー補佐 尾崎裕一様より

- ・5クラブであいさつされた際のお話
 - ・今年度のRI会長について
 - ・今年度のテーマについて
- など、お話をいただきました。



黒と白の面があるボックスを用いて、ロータリークラブについてユーモア満載なお話を聞くことができました。



WEEKLY REPORT

『何かを始めることはやさしいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい。』この格言は当時軽視されていた女子教育の先駆者として、前例のないことを成し遂げた津田梅子の人生を表しています。

北里柴三郎は『日本細菌学の父』といわれる人です。長い研究の末、世界で初めて破傷風菌の純粋培養に成功しました。それを成し遂げて間もない時に、後輩の学者を励ますために発した格言がこれです。

『人に熱と誠があれば何事も達成する。世の中は決して行き詰まらぬ。もし行き詰ったとしたら、それは人に熱と誠がないからだ。』

文字通り、熱は情熱、誠は誠実でまじめな心を意味しています。大きな目標を達成したいならば、それ相応の熱と誠をもって取り組むことの必要性を説いています。

渋沢栄一の功績は数知れず、日本初の銀行、日本初の公的取引所となる『東京株式取引所』、500以上の企業など、多種多様な会社や経済団体の設立・運営に関わり、これらの功績が『近代日本経済の父』と呼ばれる所以です。

藍玉と呼ばれる染料を作る豪農の生まれの渋沢が、近代日本経済の父と呼ばれるまでになったのは転機があったと言われています。

その一つが、16歳の時、地域の農民たちが代官のもとへ召集された集まりに参加したことです。代官が『姫の輿入れ』のために一方的に追徴課税を押し付ける様子を目の当たりにし、土農工商制度、幕府政治に対する大きな反発心を抱くようになります。

そして遂には、農民から武士へと転身し、徳川慶喜の奉公にまで上り詰めました。

その後江戸幕府の一団としてパリ万博に派遣され、フランスの繁栄を支えるものが『株式会社』の仕組みだと知った渋沢は、近代化したフランスに感銘を受け、人々がお金を投資して事業を行う仕組みを日本に広げることが決意したと言われています。

その渋沢の残した名言がこれ。

『もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である。』

現状に満足することなく、今より良くしたいと思う向上心が進化の源となるということを説いています。

渋沢が現状に疑問、不安を抱き、変えるべく行動したことによって、今の日本経済があると言っても過言ではありません。更なる高みを目指すことが大切だということが、渋沢の言葉から伝わってきます。

渋沢栄一はここではとても紹介しきれないほどの多くの名言を残しています。

是非、ご自身のお気に入りの名言を見つけていただき、ご自身の人生、そしてロータリーライフに活かしてみたいかがでしょうか。

以上、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

<就任挨拶 7月10日の分>

～出席親睦委員会 大川高明委員長～

目標

会長・幹事・クラブ奉仕委員会及び他の委員会と連携を密にして、会員同士の繋がりがより深くなることを目指し、活発な奉仕活動と出席率向上につなげたい。

活動計画

1. 夜間例会の後、毎月ファイヤーサイトミーティングを実施する。毎月テーマを決め実施する。
2. 2025年4月に大阪万博に多くの会員と二泊三日で親睦旅行を実施する。大阪地区の「ロータリー大阪・関西万博開幕祭」に参加する。
3. 年二回の家族例会において多くの家族が参加できる例会を企画する。

